

◆ 新収蔵資料紹介（令和6年度2月）展示解説シート ◆

所持すれば呪<sup>じゅりよく</sup>力を得る！？川太郎（河童<sup>かっぱ</sup>）の手

会期：令和7年2月4日(火)~3月2日(日)

久留米市立六ツ門図書館展示コーナー

令和6年6月13日に寄贈された川太郎の手（A2024-004）を初公開します。本資料は草野町に伝来した手骨標本です。いわゆる「河童の手」と伝承されており、全国に残る河童伝説に関係するものです。川太郎の手が保管されている箱の底には「此<sup>これ</sup>ヲ處持<sup>しよじ</sup>する人愛敬多呪力ヲ得る」とあり、この手が所持者に不思議な力をもたらすと考えられていることを伝えます。

久留米市では、筑後川沿岸の地域を中心に河童伝説が残ります。本資料も、そうした伝説を背景に残されてきた可能性があります。



保管箱底面の墨書

●川太郎の手

天保4年(1833)

河童の手と伝承される手骨標本で、縦6.7cm、横4.5cmです。箱書きの墨書から、所持者は河童のように、人々から愛敬を集め、呪力を得ることができたと信じられたようです。

なお、鑑定の結果、これはカワウソの手であることが分かっています。



●保管箱の墨書

蓋表「永獄山/水天之/神身云」

蓋裏「千手院快瑛/處持」

底面「川太郎之/右之手此ヲ/處持する/人愛敬多/  
呪力ヲ得る/天保四年二月」



蓋表



蓋裏